

高知県医師会医学雑誌投稿規定

〈2024年2月改正〉太字・下線は今回改正

1. 投稿原稿の著者は、原則として高知県医師会会員および会員の属する医療機関の関係者に限り、原則として1人1編とする。
2. 投稿原稿は、下記に準ずる内容が望ましい。
 - 1) 日常経験した症例(めずらしい症例, 診断に苦慮した症例, 他科の先生方にも知ってもらいたい症例, ありふれた疾患であるが貴重な体験をした症例など)。
 - 2) 医学会, 研究会, 講習会等で発表, 講演したもの。
 - 3) ある疾患に対する自分の見解, 統計。
 - 4) ある疾患に対する自分の思い出, エピソード(医学エッセー)。
 - 5) 本誌に掲載された論文に対する感想(コレスポンド), 追加報告。
 - 6) 他紙に掲載されたもの, または, 投稿中のものはご遠慮ください。
3. 投稿原稿は1頁400字とし, 図・表・写真を入れ総説25枚, 原著20枚, 症例報告15枚程度とする。
4. 外国語は, 手書きの場合は活字体で記入する。
5. 数字は算用数字を用い, 度量衡の単位は, kg, g, mg, mg/dL, dL, L, mL, cm, mm, °C, %等を用いる。各記号の後に点(.)はつけない。
6. **図・表・写真の枚数は原則として15枚以内とする。**図・表・写真の挿入箇所は, 原稿の欄外に明記すること。表の説明については表の上部に, 図の説明については図の下部に記述すること。パワーポイント使用可。
7. 投稿原稿の様式は, 1枚目に表題(英文併記), 著者名(全員の英文併記, 共同執筆者は5, 6人程度までが望ましい), 所属および連絡先を明記する。2枚目に「要旨」(400字程度)と「キーワード」(5語以内)を記載し, 本文は3枚目から記述する。本文の構成は可能なかぎり「はじめに」, 「対象および方法」, 「成績あるいは結果」, 「考察あるいは考按」, 「結語あるいはまとめ(省略可)」の項目に分けて記述する。謝辞を書く場合は「文献」の前におく。症例報告の場合は「対象および方法」の項目は記載せず, 「はじめに」に続けて「症例」として病歴から記述する。英文要旨は, 各自作成すること。ただし作成困難な場合は編集委員会で用意するので添付不要。(外国語論文の場合は各自要旨を添付すること)
8. 文献は下記の要領で記載し, 本文中に付した引用番号順に配列する。
 - 1) 雑誌については, 引用番号)著者名: 題名. 雑誌名, 西暦年号, 巻: 初頁-終頁. の順に記載する。著者名は1名までとし, それ以上は「, 他」, または, 「et al」とする。ただし, 2名の著者の場合は, 2名の名前を記載。雑誌名の略称はIndex Medicusや医学中央雑誌を参考にする。
 - (1) 北条慶一: 再発生大腸癌の病態と治療. 外科, 1990, 52: 1008-1013.
 - (2) 平岩厚郎, 安立あゆみ: 両側性非対称性帯状疱疹. 西日皮膚, 1997, 59: 1-2.
 - (3) 岡本慎一郎, 他: 非血縁者間骨髄移植の現状と成績. 臨床血液, 1995, 36: 524-528.
 - (4) Sharif HS: Role of MR imaging in the management of spinal infections. AJR, 1992, 158: 1333-1345.
 - (5) Jakob P et al: Natural history and significance of esophageal squamous cell dysplasia. Cancer, 1990, 65: 2731-2739.
 - 2) 書籍については, 引用番号)執筆者名: 書名. (巻), (版), 出版社名, 西暦年号, p 初頁-終頁. あるいは, 引用番号)執筆者名: 編集名, 書名. (巻), (版), 出版社名, 西暦年号, p 初頁-終頁. の順に記す。()内は必要があるときのみ記載する。
 - (6) 佐野量造: 胃疾患の臨床病理. 医学書院, 1974, p131.

